

春風秋霜 7月号

令和6年7月19日
島田市教育委員会日より
教育長 山中史章

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 各小学校の子供たちが、交通安全宣言書を提出しました

7月16日(火)に、地域生活部生活安全課交通防犯係が主催した「夏の『交通安全宣言書』提出式」が開催されました。各小学校から代表として参加した子供たちが、自分たちは、夏休み中にこんなことに注意して交通安全に気を付けますという宣言をする式です。当日は、島田市内にある小学校13校の中から、島田第二小学校、島田第三小学校、初倉南小学校の代表の子供と保護者の方が参加して、副市長と島田警察署長と交通安全協会島田地区支部長の前で、各小学校の交通安全宣言書を読み上げました。小学生の交通事故防止と市民全体の交通安全意識の高揚を図るために、毎年開催されています。3校の宣言書の宣言文は、次のような内容です。

【島田第二小学校】

私たち島田第二小学校児童は、青信号でも車が来ていないかを確認してわたり、飛び出しをせず、自分の命を自分で守るように、安全な横断を心がけます。

【島田第三小学校】

私たち島田第三小学校児童は、自転車に乗るとき、ヘルメットをしっかりとかぶり、急いでいるときも信号など交通ルールを守ることをちかいます。

【初倉南小学校】

私たち初倉南小学校児童は、交通事故を未然に防ぐために、交差点や横断歩道では、必ず左右の安全を確認します。また、自転車に乗るときは、ヘルメットを必ずかぶります。

全ての小学校の子供たちが、交通安全の宣言文を書いて提出しています。子供たちが書いた宣言文は、8月上旬から8月末まで島田警察署に掲示される予定だそうです。興味のある方は、是非、見に行ってください。

2 ちょっといい話

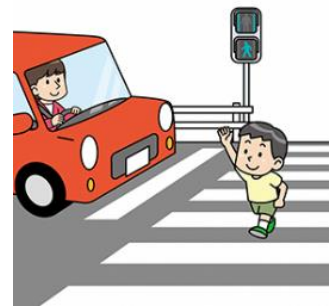
交通安全宣言書の提出式の時に、出席者の皆さんから一言ずつ話があったのですが、警察署の方からちょっといい話を伺いました。とても気持ちが明るくなる話だったので、紹介させていただきます。

はなみずき通りにある横断歩道での出来事だそうです。小学生が横断歩道を渡ろうとしていたので、車に乗っていたその方が、横断歩道の手前で止まったそうです。小学生は、横断歩道を渡った後、その方に顔を向けて、ありがとうございますという風に、お辞儀をしたということです。その時に、運転手さんは、とても気持ちが温かくなって、止まって良かったという感想をもちましたというお話を聞かせてく

れました。以前にも他市に勤めている学校の先生が、島田の六合地区を通っている時に、小学生が横断歩道を渡り切った後、「ありがとうございます。」と言って、自分の方を向いてお辞儀をしてくれたのが、とても気持ちが良かったという話をしてくれたのを思い出しました。

私が以前、六合東小学校の校長をしていた時に、子供たちは、集団登校で横断歩道を渡り切った後、全員で、お礼のお辞儀をしていました。

止まってくれることが当たり前だと思わずに、感謝の気持ちを相手に伝えることは、とても大事なことだと改めて思うとともに、島田市内の子供たちが、日頃から感謝の気持ちを表現できているということを知り、ちょっといい気持ちになりました。ありがとうございます。



肘かけ椅子

「ブックスタート 20 年」

図書館課長 静賀史乃

島田市でブックスタートが始まってから、今年で 20 年になります。現在、保健福祉センターで月 2 回実施される 7 か月児健康相談に図書館職員が出向き、絵本を介した赤ちゃんとのふれあいの大切さを参加者へ伝え、絵本 1 冊、おすすめ絵本のパンフレット、ラッコの親子が描かれた布製バックを贈呈しています。図書館でラッコのバックを持ったお子さんを見かけると、とても嬉しくなります。

ブックスタートは、乳幼児健診の機会に地域に暮らすすべての赤ちゃんと保護者に読み聞かせの体験とともに絵本を贈呈する活動で、1992 年に英国で始まりました。その背景には、多民族化による識字率の低下、保護者の活字離れ、育児不安、親子関係の希薄化、子供の想像力や集中力の低下等、英国社会の深刻な問題がありました。日本では 2000 年「子ども読書年」を機に導入され、以降全国に広がっていきました。私がブックスタートを知ったのは、2002 年 4 月に図書館へ異動した年でした。今から 22 年前のことです。県内で既にブックスタートを実施していた他自治体の取り組みを参考に、健診を担当する健康づくり課と協議するところから始めました。保健福祉センターで実施される乳幼児健診は、市内に住むほとんどの赤ちゃんと保護者が参加します。保護者が絵本に関心があるなしに関係なく、ブックスタートの趣旨を伝えられることが重要なポイントになります。絵本の予算確保には時間がかかりましたが、翌 2003 年 4 月、おすすめ絵本を紹介する「赤ちゃんとはじめての絵本」を開始、翌年の 2004 年 10 月から絵本を贈呈するブックスタートを始められました。

現在、全国の自治体の約 8 割、県内ではほとんどの市町で実施されています。今後もブックスタートが家庭で親子がふれあう機会を提供し、子供の健やかな心の発達の一助となることを願っています。